

遠隔監視システム「M-ACCESS」に
新サービス登場。

2027年2月
発売予定



冷媒漏えい検知サービス

フロン排出抑制法

簡易点検の代替機能

人による簡易点検作業の負担を、
常時監視システムで代替。

グリーン購入法 適合要件

常時監視システム機能

冷媒漏えいの常時監視と自動診断。
結果はサーバーに記録・保管。





月々 **800**円 (税抜)

インターフェイス
1台あたり

※インターフェイス機器購入費、
設置費が別途かかります。



外付け型

冷媒漏えいの 常時監視、自動診断

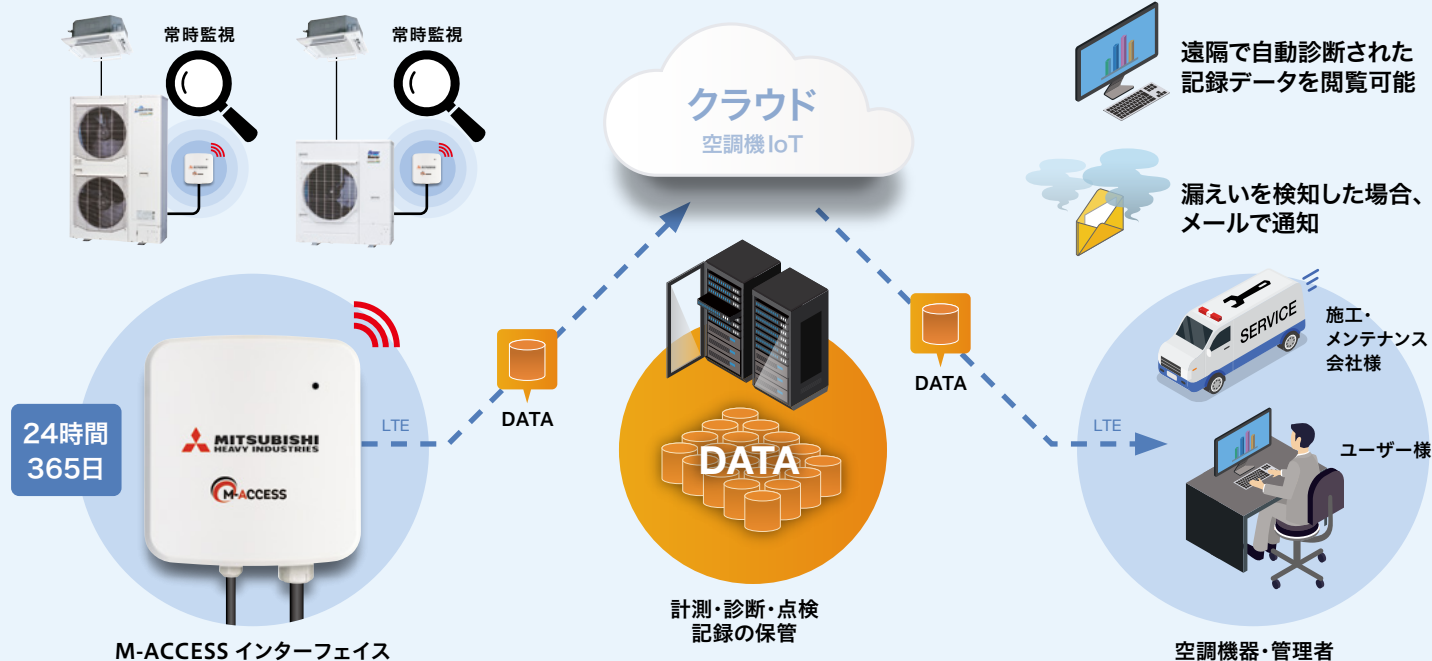
遠隔で室外ユニットを
常時監視および自動診断。
冷媒漏えいの検知は、
メールで通知。

冷媒漏えいの 記録・保管

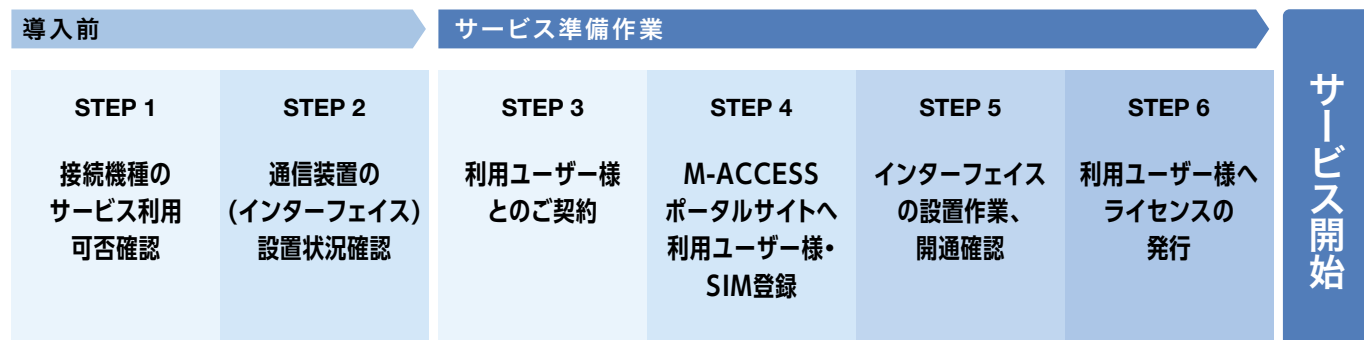
実施した冷媒漏えい有無の
自動診断結果をサーバーに記録・保管。
※診断結果を記録し、1年以上保管します。

冷媒漏えいの
記録の閲覧・出力

診断結果の記録の閲覧が可能。
※ポータルサイトから
閲覧・出力できます。



導入検討からサービス開始までの流れ



法改正による管理業務の効率化に対応



2022年度 フロン排出抑制法

フロン排出抑制法の2022年8月改正により、

フロン排出抑制法で定められた基準に適合した常時監視システムをもって、簡易点検の代替が可能になりました。

簡易点検
+
定期点検



義務化

点検実施が必須
(記録作成・保管)

新基準適合

常時監視
システムで



“簡易点検”の代替が可能に

簡易点検
内容

対象設備:
業務用冷凍空調機器全般
(第一種特定製品)

いつ、どのように:
・目視点検
・3か月に1回以上

実施者:
・誰が行ってもOK

遠隔監視による
簡易点検の自動化がOKに



※3か月間圧縮機停止が続き、冷媒漏えい診断ができていない場合は、現地での目視点検が必要になります。



2026年度 グリーン購入法の基本方針が改定

環境に配慮した製品を、国や公共機関が優先的に購入するためのグリーン購入法。

その調達基準が変わり、業務用エアコンは「省エネ性能」だけでなく冷媒漏えいの常時監視が必須条件になりました。



義務化

常時監視
システムが必須

新追加要件

JRA GL-17



常時監視システムを使用すること

▶「JRA GL-17」とは

空調機の運転データを継続的に取得し、冷媒漏えいの有無を自動診断・記録・通知する仕組みの要件を定めたガイドライン。

機器内蔵または外付けのシステムにより、常時監視状態での運用が求められ、グリーン購入法における常時監視要件の基準として位置づけられています。

JRA GL-17は、日本冷凍空調工業会標準規格業務用冷凍空調機の常時監視によるフロン類の漏えい検知システムガイドラインです。

▶「常時監視システム」とは

フロンの漏えいや機器の異常を常時監視する仕組みです。

機器内蔵型または外付け機器により構成され、使用開始時に設置・接続(必要に応じてサービス契約)が完了し、常時利用可能な状態であることが求められます。



24時間
365日

※フロン類の漏えいを検知するために必要な計測および診断を1日1回以上実施

重要：グリーン購入法 適合の必須条件

グリーン
購入法
調達基準



省エネ基準
クリア



冷媒GWP
対応



新要件



常時監視
システム導入

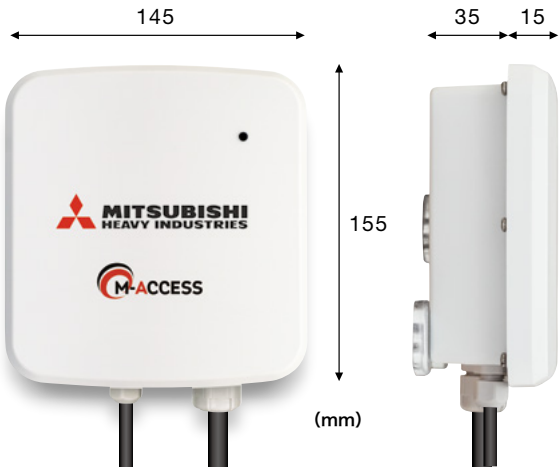


「常時監視システム」に対応した
サービスが必須となりました。



製品仕様

※写真はイメージです。一部デザインが異なります。



対応機種	店舗・オフィス用パッケージエアコン エクシードハイパー P112～P160 (2027年2月予定) ハイパーインバータ P112～P160 (2027年2月予定) エクシードハイパー P40～P63 (2027年3月予定) ハイパーインバータ P40～P80 (2027年3月予定) エクシードハイパー P224、P280 (2027年5月予定) ハイパーインバータ P224、P280 (2027年5月予定) エクシードハイパー P80 (2027年9月予定) 暖ガンハイパー P80、P112 (2027年5月予定)
通信装置	インターフェイス
型式・価格	RM-IF / 65,000円(税抜) ※別途設置費用がかかります
サービス利用料	800円(税抜)/月 (インターフェイス1台あたり) ※利用料のお支払いは年払いのみとなります。
管理台数	室外ユニット1台 (1冷媒系統)

※一定の稼働条件を満たせず、冷媒漏れ診断ができていない場合は、現地での目視点検が必要になります。

【M-ACCESS冷媒漏れ検知サービス】ご利用にあたっての注意事項

1. ご利用前の注意事項	2. インターフェイスの設置について	3. ご利用について	4. 冷媒漏れ診断機能について
(1) 本サービスはモバイル通信を使用しているため、インターフェイスの設置予定場所の電波測定を推奨します。 (2) 冷媒漏れ検知をするため、設定時刻の間に一定時間自動で運転を行います。その間は通常と異なる運転となります。	(1) 設置については据付工事説明書に沿った作業をお願いします。 (2) 取り付けの際は、機器の電源を切ってから取り付けてください。	(1) ご利用には、事前にサービス契約が必要となります。 (2) ポータルサイトからの閲覧は、閲覧権を設定したユーザーのみ可能となります。	(1) システム障害やモバイル通信の不具合により通信が遮断された場合、冷媒漏れ検知結果が記録されないことがあります。 (2) 冷媒漏れ検知サービスをご利用の際は、ブレーカーを落とさず常に通電状態としてください。 (3) 3か月間、冷媒漏れ診断ができなかった場合は、目視による簡易点検が必要になります。(事前に通知します) (4) 次のいずれかに該当する場合は、正常に診断できない場合があります。 ① 冷媒漏れ検知サービスのご利用開始時に封入すべき冷媒量に関して、当社が定める冷媒量を封入していない場合。 ② 空調負荷の著しい変化により、空調機器の安定した運転ができない場合。



JQA-0709

三菱重工サマルシステムズ(株)は、品質マネジメントシステム及び環境マネジメントシステムに関するISOの認証を取得しています。



ISO 14001



ISO 9001

Mitsubishi Heavy Industries-Mahajak Air Conditioners Co., Ltd.は、TUV NORD(Thailand)Ltd.によるISO 9001に基づく品質マネジメントシステムの認証を取得しています。



ISO 14001

Mitsubishi Heavy Industries-Mahajak Air Conditioners Co., Ltd.は、TUV NORD(Thailand)Ltd.によるISO 14001に基づく環境マネジメントシステムの認証を取得しています。

ISO認証制度 ISO(国際標準化機構)によって制定された国際的な規格。●ISO9001は、商品の「設計、開発、製造、据付及び付帯サービス」についての品質マネジメントシステムを認証するもの。●ISO14001は、製品及びそれらの事業活動における環境保全活動を認証するもの。

●本カタログ掲載の商品は日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また海外においてはアフターサービスもできません。

お問い合わせは下記へどうぞ。

三菱重工冷熱株式会社

空調事業本部 〒108-0023 東京都港区芝浦2-11-5

北海道空調部	〒003-0011	北海道札幌市白石区中央1条7-10-31	TEL. 011-846-1271
東北支店	〒983-0036	宮城県仙台市宮城野区苦竹2-7-20	TEL. 022-783-9385
関東支店	〒144-0033	東京都大田区東糀谷4-6-32	TEL. 03-5735-7645
中部支店	〒452-0064	愛知県清須市西枇杷島町旭3-1	TEL. 052-503-9141
関西支店	〒532-0034	大阪府大阪市淀川区野中北1-5-21	TEL. 06-6391-1115
中四国支店	〒733-0036	広島県広島市西区観音新町1-20-24	TEL. 082-503-2311
九州支店	〒812-0004	福岡県福岡市博多区榎田1-3-62 三菱重工福岡ビル5F	TEL. 092-412-8961

北海道地区代理店	ダイヤ冷暖工業株式会社	〒005-0003 北海道札幌市南区澄川三条1-9-28	TEL.011-823-0001
沖縄地区代理店	株式会社 東洋設備	〒900-0005 沖縄県那覇市字天久1122	TEL.098-868-6831

サービスフロントセンター(修理受付、部品、技術相談)



0120-975-365

キョウナゴヨウモ365ニチャイオウ

三菱重工サマルシステムズ株式会社 冷熱製品サイト <https://www.mhi-mth.co.jp/>

信頼あるみなさまの販売店

三菱重工サマルシステムズ株式会社

〒100-8332 東京都千代田区丸の内三丁目2番3号 丸の内二重橋ビル

- 製品の仕様は改良等、必要に応じて予告なしに変更することがあります。
- 製品の色は印刷上、実物と多少異なる場合があります。
- ご購入の際は、必ず保証書をお受け取りください。
- このカタログは2026年10月現在のものです。



本カタログは、環境に配慮し、有機溶剤の少ない植物油インキを使用しています。